

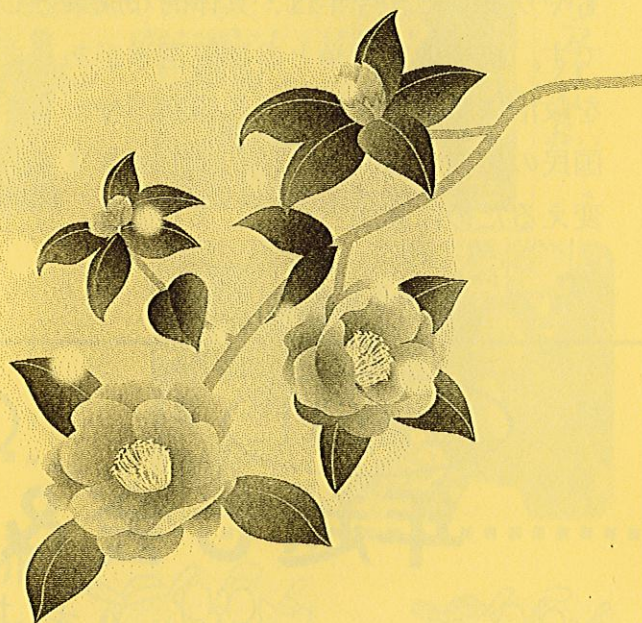
# HSK

# こころから

66号

2019.2

あたらしく  
年をおかえて  
原さきの  
あうたは決意  
りんこひびきて



昭和48年1月13日第3種郵便物承認

HSK通巻番号563号

発行 2019年2月10日(毎月10日発行)

編集 住所: 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名: 特定非営利活動法人(NPO)

精神障害者を支援する会

TEL: (011) 736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価 50円(会費に含む)

# 新年のご挨拶

支援する会理事長 三浦 誠一

昨年、事務所の隣に新若根荘を建て、11月には生活保護基準引き下げの中止を求める審査請求を全道で1031件実施しました。頑張った1年でした。

さて、今年は、なんとといっても、「支援する会」の運営がスムーズに行くこと、私達のくらしが好転することを望んでいます。2012年末に安倍政権になってから、良いことが全くありません。生活保護基準が2度に渡って引き下げられて、最大15%も収入が減りました。2018年には、支援する会への補助金が減額されて、運営が窮屈になりました。消費税が2014年に5%→8%、今年は10%となる予定です。私達のくらしはどうなるのでしょうか。昨年は、国会にも出かけたし、日比谷音楽堂での集会にも出ました。署名運動もやりました。今年は、具体的な成果として結実させる年です。統一地方選挙と参議院選挙があります。私達の意思を政治に反映させる絶好の機会がやってきました。選挙は、国民の義務でもあり、権利でもあります。選挙で政治を変えるために頑張る年にしましょう。ウーン！ 燃えるぜ！



12/31

1/1

## 年越し会 & 新年朝食会

今年も、みんなで「年越し」しました！



「年越し会」と「新年朝食会」は、両親が他界したり、身内があっても病気や障害が理由で疎遠であるなど様々な事情で帰省先のないメンバーも、楽しく年が越せるようにと毎年行っている支援する会の行事です。最近では、帰省先があっても年越し会を楽しみにして、参加するメンバーも増えています。

参加費は2000円。今年の大晦日は寄せ鍋、元日はお雑煮と細川専務理事と手伝いスタッフによる手作りおせちでした。



## 第18回支援する会

# クリスマス会

参加者は、利用者・スタッフ・会員・ボランティア、総勢89名。「回りのしりとり大会」・「ビンゴ大会」・いつもお世話になっている方々への「感謝のセレモニー」など盛り沢山の企画で大盛況でした。

## ビンゴ大会



タリアバンド

## 感謝のセレモニー



理事賞に輝いた  
みごと! クリスマスカード7作品の紹介  
「川柳~安倍首相! 私達の声を聴いてください」

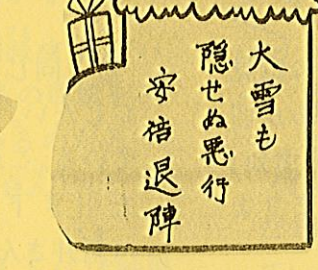


理事長サンゴ

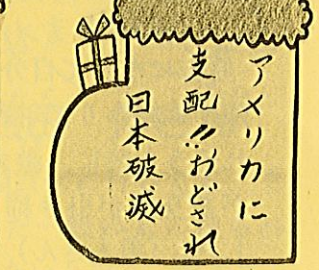
受賞は全員女性でした。来年は男性もがんばろう!



林妙子さん



長井順子さん



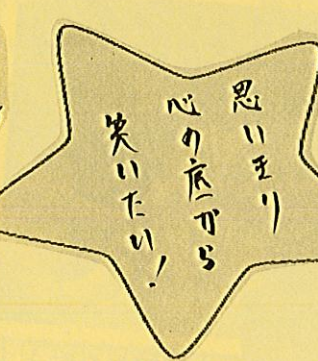
奥名純子さん



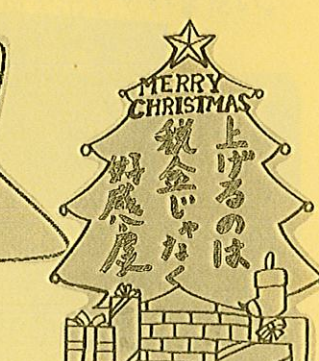
松浦めぐみさん



樋口ひとみさん



菊地蘭美さん

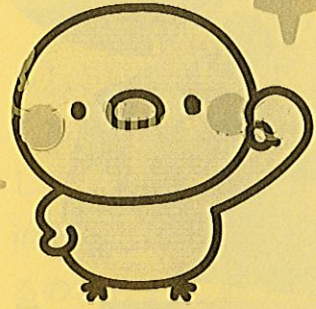


有賀冴子さん

# 「新・人間裁判」

原告と応援者、

決意を語る！



初めて参加しました。まだ、分からないことばかりで、段々、分かってくると思う。(渡辺さん)

皆で力を合わせて引き下げを止めさせたい。原告励ます会は、緊張もしました、楽しかった。(小島さん)

新・人間裁判の応援には行ける時はなるべく参加したい。頑張っている。(景子さん)

原告になって自分の意見陳述も終わり、気持ちが切れそうな時に「励ます会」があり気が引き締まりました。(勇人さん)

生活保護費が下げられたら困ります。一人では大変だけど、みんなと一緒にだから良いです。(水沼さん)

裁判しなくても良くなればと思います。励ます会は食べて飲んでうまくいった。(吉岡さん)

5年間、皆と共に闘ってきました。一矢を報いたいその気持ちだけです。最後まで諦めない心です。(林さん)

裁判で弁護士さんの話を聞けてとても良かったです。今後どうか判りませんが頑張りたい。(木元さん)

皆と同じようにオシャレしたい。でもがまんしている。これ以上保護費を引き下げないで。(新井さん)

2013年8月から生活保護費の引き下げが始まり、私たちは「元にもどせ！」と、新・人間裁判に立ち上がって、4年が経ちました。その裁判の判決もまだなのに、政府は2018年10月に再度引き下げを強行しました。黙ってられないと、支援する会も含め北海道からは1031人が審査請求に立ち上がり、11月22日に審査請求書を道庁に提出しました。

12月3日(月)第17回口頭弁論終了後に、『新・人間裁判原告を励ます会』が開かれ、「裁判をあきらめるわけにはいかない！」とがんばる原告団を激励。ともに裁判を闘う原告・弁護士・支援者が交流しました。原告団は「勇気をもり最後まで頑張る決意」を述べました。(※以下は、交流会での支援する会参加者の発言と感想です。)



人間は食べるだけでは生きていけません。安心して生きていけるよう闘いたい。(田口さん)

わたくしたちの暮らしは、どうなるのか。保護費をもとにもどしてください。(有櫛さん)

今も生活が苦しいのに、これ以上生活保護費を削らないで欲しいです。(工藤さん)

女性の裁判長が原告の話をよく聞いていた。しっかりと考えて正しい判決を出して欲しい。(松本さん)

最低限度の健康で文化的な生活ができますように。(小川さん)

私が裁判所で意見陳述をしてから、月日の経過は早いものです。裁判に勝つ迄、元気で頑張りたい。(宮崎さん)

弁護士・原告・世話人・支援者の真ん中で、三浦事務責任者が報告する姿に会場心一つ。頑張れると思った。(堀田さん)

保護費引き下げの国の根拠には無理があります。そこを突けば裁判に勝ってます。力を合わせましょう。(井上さん)

保護費が下げられて、欲しいものも買えなくなりました。裁判で勝ってほしい。(川島さん)

私もそうだけど、生保の人たちがこれ以上お金に困らないようにして欲しい。(齊藤さん)

糖尿病で野菜を多く採らないといけなくて、保護費のこれ以上の引き下げは断固反対です。(高坂さん)

今は年金と蓄えでの生活ですが、将来は生活保護を利用する事になるので、関心をもち応援しています。(中澤さん)

生保を削減するとうのなら、人の尊厳をどう考えているのだろうか！(樋口さん)

生保引き下げは納得のいかない事だらけ。納得いくまでとことん闘いたい。(内田さん)

自分の事だから、自分で裁判所に訴えたいと思って原告になりました。多くの人に理解してもらいたい。(小西さん)

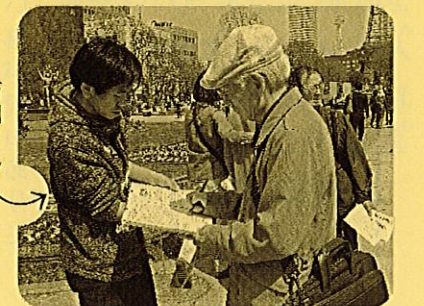
11/22「審査請求書提出集会」にて



街頭署名活動に休まず参加!

吉田 伸さん

街頭宣伝に行っても、まだまだ一般の人に知られていないと思う。改めて、皆で声を出していきたい。(伸さん)



吉田さん



12月3日「新・人間裁判原告を励ます会」札幌市教育文化会館にて





# 新築し、引越しました!

## 新グループホーム「若根荘」



若根荘に入居して22年。まさか新築になるとは!! 本当 にびっくりです。とっても部屋が暖かく、窓からさす光も明るくてうれしい。安心して暮らしていきそうです。  
村上 久美子

新しい若根荘見学の時、父が退職した際新築した家を思い出した。家族の心はバラバラだったが、其々の胸の内は何となくほっとしたと同時に複雑だった。新若根は住み良い。樋口 ひとみ



部屋が1階になり安心してあります。スーパーも近くて買い物も楽です。雪かきもがんばっています。7人になったので色々あるけども楽しいです。  
小西 やえ子



部屋のストーブに灯油を入れなくて良くなったのがすごく楽でうれしいです。HAPPYに通うのがちかくなったので運動不足です。どうしよう・・・。  
中澤 昭子

新しい若根荘は、部屋がきれいになって、7人で一緒に夕食を食べています。旧若根荘の時より、近くにハッピーがあり運動不足。なんとかしなくちゃ! 齊藤 麻実

見学にきた時、ここに住めるなんてうそみたいに思えました。引っ越しを始めて現実なんだと思いました。スーパーは近いしHAPPY作業所は隣だし。感謝して大切にしていきたいです。  
近澤 広美

引っ越しの話が出てから当日迄、とても慌ただしかったが、期待が大きかった。新居は以前より広く感じる自室も含めてとても快適。外での喫煙も慣れました。  
内田 民江

約2ヶ月が経ち、ようやく生活も落ちついてきました。引っ越しの荷造りは他のスタッフの力も借り頑張りました。今は最高に暖かい若根荘。感謝を忘れず、いつまでも大切に、綺麗に使わせて頂きます。  
松浦 めぐみ

### 障全協全国大会・中央行動に参加して

共同作業所・HAPPY職員 中村 晴美

11月18日、全国から250人が集り、第52回障全協全国大会が行われました。集会では、強制不妊手術問題や障害者雇用水増し問題が相次いで表面化する中、65歳介護保険優先原則問題や障害者年金の打ち切りなど、様々な問題が年々深刻さを増している。これらの障害者排除・差別が起こるのは、障害者の基本的権利が保障されていないから。今こそ憲法を守り、障害者権利条約が求める水準への引き上げを求めて国に訴えていこうと、参加者が一致団結しました。

午後からは、翌日行われる政府交渉に向けて、支援法・介護保険・交通など10のグループに分かれて学習。私に参加した障害者福祉事業関係グループは、障害者福祉法の一部改正についての要望、報酬改定による事業所の減収などの内容で、全国各地の方々と意見交換をし、それぞれの思いを共有し深めました。翌日は、国会議員会館での政府交渉に参加。家族の方が「報酬改定の影響で、子供が通所していた児童デイが倒産し、9月から毎日、曜日ごとに違うデイに通っている。新しい事業所に慣れず、体の不調が出ている」と訴えていました。

この2日間を通して、現場で起こっている問題を国や自治体に伝えることの大切さを感じてきました。そして憲法や制度についてしっかり学び、運動を頑張りたいと思います。



参加者と。左が本人です。

## 新しい仲間の紹介

宇田英二さん

宇田と申すは、昨年9月頃何年か外リア屋のチラシが投函され、リア屋にきて雪囲いの思い、道所事務に申し込み、まだ昔の月と日が代り、宿舎の名前も仁岐の50%ほどしか覚えていませんが、宜しく願ひ致し、好きな言葉は、雪、空、緑、海、山、ELEMENTS, Atomicです。



ELEMENTS (元素) や, ATOMIC (原子) について調べたり、勉強することが好きだそうです!

## スタッフを紹介します!

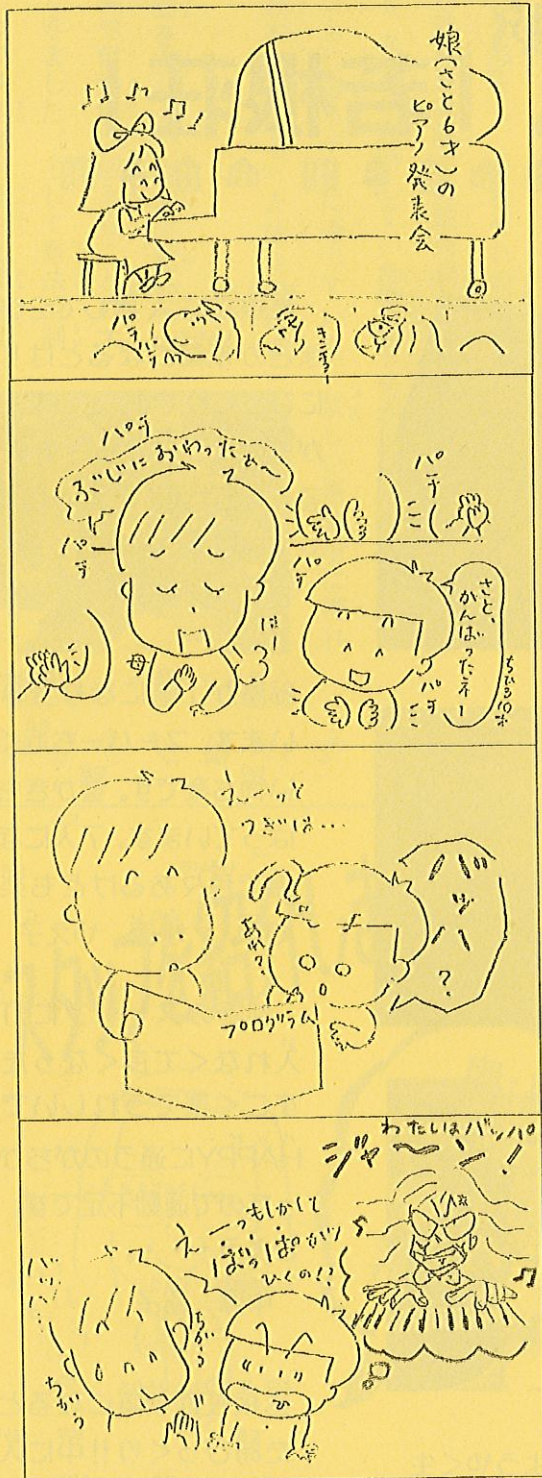


奥名純子  
はじめまして!

昨年の7月から働かせて頂いています。年だけは重ねていますが、分からない事が沢山あります。楽しく働き、学んでいきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

# 4コマまんが

～チヒロとサト～



By はは

## 《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき  
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2018. 10. 1～2019. 1. 20

北海道生活と健康を守る会連合会、ニチドク事務機代表 取締役 中原信、平田内科クリニック、フジモトアキラ整骨院、(有)京屋電機 斉藤一博、フジモト青果店、NPO はるな会 理事長 高橋ミチ子、(株)葬祭総合センター 代表取締役 横市義明、(株)竹林総合紙器 代表取締役 山本篤美、田口尚之、達崎竜一、内田民江、木崎直生、渡辺哲也、村上久美子、マツダ、土沼芳枝、中澤昭子、近澤広美、細川徹恵、浜林、池高、松本眞郎、川島義和、串田浩二、林妙子、辻本、宮川、松橋、山階雅章、菅原、杉浦、市村、笹、佐藤、向山、木村、川岸、阿久津、高橋、荒川、内山、丹羽裕子、池田道子、沼山恵美子、小竹澄枝、小島智子、磯谷敏雄、高坂瑞世、田中護



～ご協力をお願い～

『書き損じハガキ、ありませんか?』

支援する会では“書き損じハガキ”を集めています。頂いたハガキは、支援する会の財政活動に使わせて頂きます。

ご協力宜しくお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行 2019年2月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号563号

### <編集後記>

母新しい年を迎え、新年会・書初め・カラオケレク…と、あっという間に早一ヶ月が経ちました。支援する会3大行事の一つ「クリスマス会」の様子や、「年越し会&新年朝食会」「新・人間裁判」などなど…とても見ごたえのある内容になっています!!ぜひ最後まであきらめずに(笑)目を通して頂けると嬉しいです。今年もどうぞよろしくお願い致します。(米村)

母「ころから」でお知らせできるのは、支援する会のごく一部の活動ですので、毎号「限られた紙面で何をどう伝えようか」を編集会議で話し合っています。「障害者福祉制度に関わる国や市の情勢」に触れるページを設け、皆さんに伝えていこうと今回は、『障全協全国大会の報告』を掲載しました。ぜひ読んでみてください!皆さまからの投稿もお待ちしています!(藤原)